

(作成年月日) 2024年4月9日

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] Nontyphoidal *Salmonella* における腸管外合併症の疫学に関する後ろ向き研究

### [研究の目的]

血液、便などの患者様に由来する検体(臨床検体)から分離された非チフス性サルモネラ(Nontyphoidal *Salmonella*: NTS)について、臨床診断、患者背景、使用薬剤、治療経過、薬剤耐性傾向を調べることで、この菌による感染症の合併症発現傾向などを把握することを目的とします。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

2013年4月1日から2024年3月31日の期間において、香川大学医学部附属病院で臨床検体からNTSが分離された患者様

#### ○利用する検体・情報

情報: 年齢、基礎疾患、診断名、発症日、入院日、退院日、ICU入室の有無、透析の有無、人工呼吸器使用の有無、治療(薬剤・手術)、過去30日以内の免疫抑制剤の使用の有無(ステロイド、ステロイド以外の免疫抑制剤、抗癌剤、免疫チェックポイント阻害薬、インターロイキン阻害薬)、内服薬(H2 blocker, PPI)、症状(消化管症状、菌血症の有無、発熱)、リスク行動の有無(爬虫類の飼育、生卵の生食、生肉の喫食を含む既存の暴露歴の有無)、検体の検出年、検体の種類、検出菌種名、菌種同定方法、薬剤感受性データ、血液・生化学データ、30日後の予後、退院時の予後

### [研究組織]

香川大学医学部附属病院 感染症教育センター 准教授 横田 恭子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 感染症教育センター 担当医師 福盛勇介

電話 087-891-2449 FAX 087-891-2254